

今こそブレイクスルー！
すべての労働者の立場に立った働き方を実現しよう！



2019春季生活闘争ニュース

2019. 3. 6 第4号 発行責任者 連合北海道組織労働局

春闘も選挙もガンバロー！

— 3. 5全道総決起集会を開催 —

連合北海道は3月5日、札幌市内で「2019春季生活闘争・統一地方選挙・参議院議員選挙勝利!3. 5全道総決起集会」を開催(連合北海道石狩地協・札幌地区連合共催)。1400名が参加し、「春闘も、選挙もガンバロー」と確認し合った。

主催者を代表して出村連合北海道会長は、「去年は中小が大手の賃上げ率を上回った。今年も月例給にこだわって賃上げを進め、この成果を社会の隅々に広げていこう」と述べると共に、働き方改革についても「長時間労働の是正、同一労働同一賃金を進め非正規労働者の処遇改善をめざそう」と呼びかけた。



また、統一地方選挙では連合北海道が推薦した知事候補予定者・石川ともひろさんのプロフィールなどを紹介し、「官邸主導で知事を決めるのか、道民が決めるのか」、「中央依存の道政を続けるのか、地域にこだわった自立した道政を進めるのか選択の闘いだ」、更には「安倍政権との闘いでもある」と選挙戦の意義について述べ、「民主主義を回復し働く者の生活を取り戻そう、石川知事の誕生、秋元札幌市長の再選をはじめ連合推薦候補予定者の勝利に向けてがんばろう」などと参加者に訴えた。

春闘方針を提起した杉山連合北海道事務局長は、「13日からの最大のヤマ場では8産別46組合が回答引き出しに向けて交渉を追い上げている」などと情勢を報告。「構成組織と地域が一丸となって闘い抜こう」と呼びかけた。さらに統一地方選挙にふれて「現道政は国の政策に追随する姿勢が目立ちリーダーシップが発揮されていない」と指摘。「官邸主導の候補を選考するような保守道政の継続を許すわけにはいかない」として、「将来の希望と安心のためになんとしても石川知事の誕生が必要だ。16年ぶりの道政奪還に向けて奮闘を」と要請した。

続いてU Aゼンセン北海道支部ラルズ労働組合の袴田副委員長、情報労連北海道協議会N T T労組の萩原事務局長から今春闘に臨む力強い決意表明があった。

また、石川ともひろ知事候補予定者、秋元かつひろ札幌市長、全道各地の道議候補予定者、札幌市議候補予定者、勝部けんじ、はらやなみの両参議院議員選挙候補予定者がそれぞれ決意を述べ、参加者の大きな激励の拍手を受けた他、比例区候補を擁立する10産別も候補予定者をアピールした。

3月6日は「36(サブロク)の日記念日」です



連合北海道と連合北海道石狩地協は、3月6日、札幌市で「Action! 36街頭集会」を開催した。

連合北海道の出村会長や連合北海道石狩地協の太田会長が、36協定や4月から施行される改正労働基準法のポイントなどを説明し、「36協定の意義を広めて社会全体に長時間労働を無くす運動を広げていかなければならない」と訴え、「働き過ぎ、過労死を無くそう」、「働きやすい職場をつくっていこう」と、市民や集会に参加した組合員に呼びかけた。

連合は昨秋より、「Action! 36」と題して、すべての職場でのより良い働き方の実現を目指し、36協定の適切な締結を徹底するための取り組みや、地域・社会における機運の醸成をはかるための運動を展開している。また、3月6日を「36(サブロク)の日」記念日として日本記念日協会に申請し、認定を受けている。